

広めよう“小さな親切”

小さな親切運動国東市支部発足総会

「小さな親切」運動国東市支部の発足総会が、9月4日(火)午後1時30分からアストくにさきで行われました。「小さな親切」運動は、「できる親切はみんなでしよう それが社会の習慣になるように」をスローガンに昭和38年に発足。これまで市内では、武蔵町支部が活動してきましたが、国東市全体で小さな親切運動を広げていこうと、今回の支部発足となりました。

総会には、同支部実行委員や来賓の皆さん約30人が出席。実行委員を代表して都留美英市区長会長のあいさつに続いて、来賓の野田侃生市長、猪俣俊雄市議会議長、仲道俊哉大分県本部会長があいさつ。その後、都留俊一郎武蔵町支部長が「小さな親切」運動のこれまでの取り組みについて報告しました。

続いて、国東市支部の会則や役員、事業計画、予算等が審議され、会長に都留俊一郎さんが選任されました。

「自分たちでできることは自分たちでやっていくことが小さな親切運動につながります。皆さんの力で、住みよい国東市にしましょう。」とあいさつする都留俊一郎会長

▼中央本部から車いすが贈呈され、仲道会長から野田市長に目録が伝達されました



国東警察署との連携を深めて

市職員を対象に不当要求行為防止対策研修会を実施

9月12日(水)午後6時から、武蔵セントラルホールで、市職員を対象とした不当要求行為防止対策研修会が行われました。

この研修会は、近年複雑化する社会環境を背景に、全国的に行政に対しての暴力的な不当要求行為等が増加傾向にあることから、その対応についての共通理解を深める目的で行われました。

この日は、市役所、市民病院、消防署等の行政組織から係長級以上の職員約200名が参加。野田侃生市長に続き、国東警察署の隅田勝信空港警備派出所長兼刑事課長からあいさつがあり、この後、現状報告やビデオ視聴、国東警察署員による窓口対応の実演等もあり、警察との連携をさらに強めながら、組織としての確に対応し、公平・公正な行政を実現していくことなどが確認されました。

窓口の対応を実演する国東警察署員の皆さん



バレーボール大会の募金を日赤に寄贈



▲募金に訪れた(左から)小田忠光さん、岩下豊美さん、野田市長、小田哲也さん

「第1回読売杯仏の里小学生バレーボール・ミニバレーボール大会」の実行委員の皆さんが、9月26日(水)に市役所を訪れ、同大会で集められた募金を寄付しました。

この募金は、9月16日(日)に安岐体育館などで行われた同大会の会場で、新潟県中越沖地震の被災者や難病で苦しむ子どもたちへの支援を呼びかけて集められたもので、市役所を訪れた同大会実行委員長の小田忠光さん、実行委員の小田哲也さん、参加チーム代表の岩下豊美さん(J'Friend's)が、日本赤十字社大分県支部国東市地区長の野田侃生市長に募金を手渡しました。野田地区長は「ありがとうございます。大切にさせていただきます」と御礼を述べました。